

一般選抜入試

各科目ごとの出題傾向・出題内容をよく理解し、一般選抜入試に臨みましょう。

英語 English

出題の基本方針

高等学校までの学習内容をどの程度修得しているかを確認するための問題が中心となります。「発音・アクセント」「語彙」「文法」「長文読解」などで例年構成されますが、年によっては「会話表現」が出題されることがあります。なお、「リスニング」は出題されません。

昨年度の出題内容・分野について

「発音・アクセント」「語彙」「文法」に関するパートは、選択肢から正答を選び記号で答える形式となっています。「長文読解」のパートは、長さが300語程度の新聞記事から出題され、記述式（英文和訳）の問題が含まれます。

注意事項とアドバイス

「発音・アクセント」や「文法」の問題に関しては、一般的な大学受験向けの参考書を中心に学習すれば十分です。高校生が知っておくべきベーシックな単語や文法が例年出題されます。なお、「アクセント」の問題は、「最初の音節をもっとも強く発音する語を5つ選ぶ」という形式が多いため、「音節」という言葉の意味を理解しておいてください。

「長文読解」の問題文は、新聞記事から出題され、日頃から社会の動向などに関心を向け、日本語でも構わないので新聞によく目を通しておくとうれしいです。記事の内容を予め知っている、例えば英字新聞の中に知らない単語が含まれていても、比較的スムーズに読み解くことができます。トピックとしては、保健・環境・時事問題などが多い傾向にあります。試験前1年以内の社会情勢に特に注目しておくとうれしいでしょう。

国語 Japanese

出題の基本方針

高等学校の学習内容に準拠し、その学習を通じて得られる国語力に応じた出題を基本としています。文章の構成や展開、論点などを正確に把握する能力や、表現の仕方などを理解する能力を確認することが目的となります。

昨年度の出題内容・分野について

「現代文」が出題されます。漢字の読み書きや語句の意味、文章の内容を問う問題などで、記述形式のものも含まれます。長文問題は基本的に「評論文」です。ぜひ評論文に慣れておいてください。昨年度は現代の人々が直面している諸問題に対してどれだけ関心を持っているかということが問われました。

注意事項とアドバイス

評論文に慣れる方法としては、新書や一般文芸誌の評論をたくさん読むことがよいでしょう。国語の教科書に載っているような評論家が、他に発表している文章などを読むことも勉強になります。社会に対するさまざまな視点を知っておくことが大切です。

設問に答える際には、何が求められているのかをしっかりと理解することが重要になってきます。答えは問題文（長文）の中に必ずありますので、注意深く読んでください。また、記述形式の問題は、箇条書きや単語だけで答えるのではなく、文章で答えるようにしてください。例えば「何文字以内で説明しなさい」というような問題であれば、主語・述語を合わせ、「～ということ。」と、きちんと文末まで書いてください。もしわからなくても、諦めずに、文中の語句を使いながら最後まで書ききることを心掛けてください。

また、文章の読解力とは別に、漢字・文法・慣用句（慣用表現）の知識を問う問題も出題されます。漢字は部首や熟語の構造、文法は現代文法など、小・中学校で学習した内容も含まれますので、再度確認しておきましょう。

数学 Mathematics

出題の基本方針

出題範囲は数学Ⅰで扱われている内容に基づいて出題されています。ほとんどの問題が高校の教科書レベルで、一部の問題が大学入学共通テストレベルです。

昨年度の出題内容・分野について

例年、大問が4つ出題されています。「因数分解や式の展開」「方程式や連立不等式」「二次方程式」「対称移動」「三角関数」「データの分析」から出題されています。

注意事項とアドバイス

教科書や問題集の例題や練習問題を繰り返し解くことが必要です。2次関数のグラフについて、軸や頂点などの理解と共に、グラフを描けるようにしておく必要があります。正弦定理や余弦定理の基礎だけでなく、応用問題も解けるように準備しておきましょう。四分位数や四分位偏差、分散、共分散などの統計量を理解するだけでなく、実際に計算できるように繰り返し練習しましょう。記述式の問題も出題されており、式など途中点が与えられることがありますので、導出の過程を丁寧に回答するようにしましょう。

化学 Basic Chemistry

出題の基本方針

出題範囲は化学基礎で扱われている内容に基づいて出題されています。ほとんどの問題が高校の教科書レベルで、一部の問題が大学入学共通テストレベルです。また、基礎問題・標準問題から出題されており、取り組み易い問題となっています。

昨年度の出題内容・分野について

教科書で扱われている内容から満遍なく出題されています。出題の対象は「原子とその構造」や「イオン」、「周期表」、「化学結合」、「原子量や分子量」、「化学反応式」、「酸・塩基」、「水の電離や中和反応」、「酸化剤と還元剤」、「酸化還元反応」などです。有機化合物の燃焼についての問題が頻出しています。燃焼についての反応式や計算についてよく理解しておきましょう。

注意事項とアドバイス

しっかりと教科書を理解し、教科書の練習問題や演習問題を繰り返し解くことが必要です。知識を問う問題と計算問題が出題されています。計算問題は基本的な計算が多いので、しっかりと理解して計算間違いがないように気をつけましょう。

生物 Basic Biology

出題の基本方針

「生物基礎」からの出題を基本としていますが、教科書に書かれている内容を暗記していれば解ける問題だけではなく、教科書の知識を前提として自分自身で考える必要のある問題も出題されています。

昨年度の出題内容・分野について

出題された問題数は5問です。Ⅰ期「細胞の構造」「遺伝子発現」「免疫細胞」「循環系」「食物連鎖」、Ⅱ期「細胞と細胞小器官」「代謝」「酵素反応」「内分泌系」「窒素循環」でした。

注意事項とアドバイス

選択肢からの記号選択だけではなく、正確な漢字やカタカナでの記載を求めるものが出題されています。基本的な生物学用語については正確に書けるようにしてください。また、科学的な思考力を問う論述問題も出題されていますが、生物基礎の学力があれば解答できる内容です。設問はヒトに関する生理、生化学的な内容が多く含まれますが、広い領域から出題されるので、偏りなく勉強してください。